



目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成30年3月19日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【第13回卒業証書授与式】

3月16日に4名の子どもたちが巣立ちました。仲がよく優しく穏やかな雰囲気での6年生でした。この6年生が、志々伎小学校を温かく包み込み、下級生も言い争いなどがほとんどなく、のびのびと楽しく学校生活を送ることができました。



4名の将来の夢は、大工、保育士、教師です。夢の実現に向けて努力を積み重ねていくよう、高木美帆選手のバンクーバー・ソチ・ピョンチャンオリンピックでの挫折や再挑戦などを例として話しました。



また、多くの地域の方々に4名の晴れの姿を見守っていただきました。ありがとうございました。これからも4名の成長にご支援とご協力をお願いいたします。

【おめでとう】

【南島原市セミナリヨ版画展】

入選 5年 ○○ ○○ さん

入選 5年 ○○ ○○ さん

【平戸市ボランティア標語】

特選 5年 ○○ ○○ さん

特選 2年 ○○ ○○ さん

【睡眠の話②】

「春眠暁を覚えず」と言われる季節になってきました。ついつい土日や朝8時9時頃まで寝てしまうことが多くなりがちです。

しかし、平日より起きる時刻が2時間以上遅いと、体内時計がくるってしまい、心が不安定になってしまうそうです。ご注意ください。

【地域に支えられて】

2月に JA 女性部の方のご協力で、すしごはん・吸い物・ポテトサラダを作りました。野菜の切り方など優しく丁寧に教えていただきました。また、JAの方と、「ばあちゃんの名前は?」「ああ、○○さんの孫ねえ」「ばあちゃんのことよう知つとるとよ」などと楽しく会話をしながら楽しいひと時を過ごしました。ありがとうございました。



朝、立哨指導をしていると、志々伎や野子の方々は、本当に子どもたちのことを思ってくださっていると実感します。

日本自動車連盟（JAF）が昨年8月15日から1カ月間、全国94カ所の信号機のない横断歩道で実地調査をしたところ、歩行者が渡ろうとしているときに一時停止した車は1万251台のうち、わずか8・5%の867台だったそうです。

志々伎小学校前では、2台に1台の割合で車が止まります。全国平均の6倍というものすごい数値です。忙しい朝の通勤時刻なのにです。やさしさと思いやりの心が満ちあれている地区だとつくづく感じます。